

まつりごと 黒岩政通信

「黒岩たかひろ応援団」会報

- 新発田事務所
〒957-0053
新潟県新発田市中心町2-4-21
TEL. 0254-21-0700 FAX. 0254-21-0707
- 村上事務所
〒958-0852
新潟県村上市南町2-5-19
TEL. 0254-50-1755 FAX. 0254-50-1756
- 阿賀町事務所
〒959-4402
新潟県東蒲原郡阿賀町津川3433
TEL・FAX 0254-92-2550 (兼用)
- 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館820号室
TEL. 03-3508-7493 FAX. 03-3508-3320

E-mail : kuroiwa-16@prontonet.ne.jp
ホームページ: <http://www.t-kuroiwa.jp>
携帯ホームページ



第20号
2019年8月1日発行

越後の 暴れん坊!!

復活!

夏の政治決戦、参議院選挙が終わりました。新潟の結果は皆様のお蔭で打越さくらさんの痛快な勝利。私自身も嬉しさひとしお、感激しております。全県の勝利で万々歳、新潟3区の勝利で更にバンザイというところです。

新潟の戦いは与野党共にハンディ戦。塚田一郎候補は「村度発言」というマイナス、打越さんは「落下傘」というマイナスからのスタートです。そのマイナスをカバーするために自民党は麻生副総理、安倍総理、菅官房長官を初日3日間で続々と投入。出陣式は村度した元国交副大臣と村度された副総理のツーショットです。その後も総理、副総理は再度来県し小泉進次郎衆議員も応援に入ります。迎え撃つ打越陣営は我ら県内国会議員が主力部隊で、さながら中央vs地元の構図となりました。

最後1週間となり西村ちなみ衆議員、菊田まきこ衆議員、森ゆうこ参議員で自称「越後3人娘」を再結成(2003年、当時の小嶋連合新潟会長が名付けた「民主3姉妹(※一瞬だけで誰も覚えていない)」が何故か変形)。結果、私は「劇団ひとり」ならぬ「男国会議員ひとり」状態に。こうなりや元祖「越後モノ」の復活と12年振りに「越後の暴れん坊」再デビューとなりました。あちらはトリオですがこちらはピン。負けじと大暴れ致しました。

さくらさんの魅力と頑張りによって越後で季節外れの「サクラ」がサク事に。江戸から舞い降りた都会型候補にとつて山村部の新潟3区は馴染みづらいと心配されましたが見事な勝利。「越後の暴れん坊」復活です。

衆議院議員

黒岩宇洋

たかひろ





～今後の政局・年内解散か～

参院選結果は自公の勝利。今後の政局に影響を与えるのは改憲勢力の数です。今回の選挙で改憲勢力は3分の2の議席を失いましたが不足数は僅か4。安倍総理が野党から一本釣りで埋める極めて現実的な議席数となっていました。一本釣りの相手は比較的考えの近い国民民主党からか、と永田町では囁かれています。何せ安倍総理の最大最終目標は自らの手による改憲。政治は権力を握った者が「何を指すか」で動きが決まります。案の定参院選翌日から「憲法改正議論をすべきと国民の審判が下った」と訳の分からない事を言い始めました。

秋までに水面下の政局で参院3分の2を確保できれば仕掛けるのは臨時国会。与党は強引且つ執拗に憲法調査会を動かそうとするはずです。臨時国会終盤は先の通常国会同様、いやそれ以上に「解散風」が吹き荒れます。ダブル選とは違い公明党の理解も得られ、前回衆院選から2年以上経っているので国民の理解も問題ありません。政治日程的には天皇陛下の即位礼・大嘗祭が終わる11月中旬以降なら

問題なし。消費増税直後に解散を打てるのかといぶかしがる声もありますが、増税直前に参院選で勝利し、また増税後の景気動向を図る数値が出る前の年内ならこれも問題ないでしょう。憲法審査会を動かさなければ「議論すらしないのか、国民の信を問う」で伝家の宝刀をバツサリ。野党として難しい国会運営が迫られます。

先の日程を見れば来年東京五輪以降では衆院任期残り1年となり、一般的に追い込まれ解散の雰囲気嫌う政権の立場と、また安倍総理の性格からしてもそれ以前に仕掛けたいところ。上記の好条件に加え、改憲勢力である日本維新の会の勢いがある内と考えれば年内解散が最も可能性が高いでしょう。その他のタイミングとしては来年1月通常国会冒頭解散、次に3月予算成立後解散の二つ。春までなら東京五輪に影響を及ぼさないはずで。

いずれにせよ参院選が終わったのですから次なる衆院選に向け政局は絡み合いながらも急激に収束していきます。私は引き続き中央政局では野党結集に尽力し、地元では解散総選挙に備えます。

参院選新潟選挙区の結果 —— 次に繋がる大勝利

新潟 (1-3)

当521,717 打越さく良 無新
479,050 塚田 一郎 自現
32,628 小島 糾史 諸新



一つのポイントが投票率。傾向として高ければ無党派の支持率が高い野党有利、低ければ業界固定票の割合が高い自民党有利とされています。3年前の投票率は約60%。今回は約5%下がり55.31%でしたが野党がモノにできた事は地力の勝利と言えるでしょう。

二つ目は昨年県知事選で3区は1万6千票負けましたが、今回はその差を挽回。次回衆院選に繋がる勝利となりました。



3区 エリア (村上、胎内、新発田、阿賀野、五泉各市、新潟市北区、聖籠、阿賀各町、関川、粟島浦各村)

打越さく良氏 86,424 (48.84)
塚田 一郎氏 85,205 (48.15)

※衆院1,4区の一部を含む。新潟市北区の一部を除く



～ 地元活動報告 ～

新潟山形地震 6月18日



新潟を含む日本海側地震。震度6強の村上市役所を訪ね高橋市長から被害状況報告を受けました。その後、避難所と被害現場へ。開設された立憲民主党災害対策連絡室に現状を伝えました。

後援会バス旅行 5月27日



恒例の後援会バス旅行を5月に行いました。温泉に宿泊した翌日は国会見学、晴天に恵まれ後援会の皆さまと大いに盛り上がりました。

忘新年会・ミニ集会



年末年始にかけては国政報告会を開催。通年で各地域でミニ集会を行っています。

諏訪町の自宅へお立ち寄り下さい!



引越しました



新発田市民となり11年間、賃貸マンション住まいでした。一軒家に住んだ方がより地元の皆様から信頼感をもって頂けるという声も寄せられていました。こども2人も大きくなり(娘7歳、息子5歳)、今までの住まいが手狭になったこの機会に念願でした一軒家(築24年)を諏訪町に購入しました。

更に一層、地域に根ざして活動して参ります。



<中学時代> サッカー部に所属
ポジションはセンターフォワード

黒岩 ヒストリー (第二話)

表となる神田勝夫選手のいる南浜中学も内野中学に県大会で破れました。

私の中1の秋から「3年B組金八先生」が放映され世の中学に「ツッパリ」旋風が吹き荒れる事に。大和中学も御多分に漏れませんでした。私も裏に刺繍の入った長い学ランを身にまとい髪はうっすら茶髪に整髪料。仲間

皆さまは黒岩が7人兄弟姉妹の長男だをご存知でしたでしょうか？

第二話は中学校時代をご紹介します。

1979年、大和中学校入学。当時の大和町は1町1中学ですので浦佐小学校の卒業生はそのまま全員大和中学生となりました。小学校と中学校の大きな違いは①部活が始まるのと②中間・期末テストが始まり学力の順番が明確につく事。更に言えば小学校にはなかった③男女交際なるモノがいきなり出現し格段に大人の世界に入り込んだ感覚を覚えました。

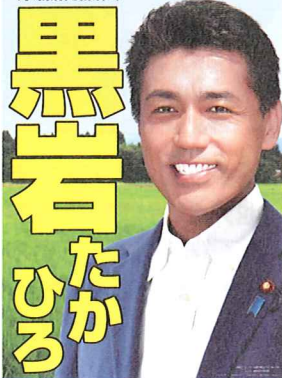
部活はサッカー部。それまで体験した事はありませんでしたが、野球部は坊主頭という理由で拒否し何となく自由感漂うサッカー部を選びました。これが正解。当時は土日も含め休みなく厳しい練習でしたが楽しかったですね。中学の思い出の一番大きな部分は部活でした。3年時には郡大会、中越大会を勝ち抜き新潟県大会へ。優勝した内野中学と対戦しベスト16で敗退。私は2得点しましたがその年内野中学から2得点奪ったのは私一人と自慢しておきます。因みにその後Jリーガー・日本代

を巻き連れツッパリを気取っておりました。

勉強は部活とツッパリの合間に懸命にいそいそと。私の志望は東京の高校だったんですね。今より広い社会に早く出たいという思いからですが小学校5年の頃から漠然と考えていました。母親はそもそも高校はいかなくてもよい、という考えの持ち主だったので頭から反対されましたがお金の掛からない国公立かつ男女共学ならとギリギリの条件を提示してくれました。都立高校は都内中学出身でないと受験できませんのでこの二つの条件を満たす高校は都内に2校のみ。その内の一つが東京の祖父母の家から通える東京学芸大学付属高校です。願書を出しましたが見事不合格。それも内申書で振り落とされ入試すら受けられないハメに。名誉の為に言っておきますが内申書と言っても素行不良で落とされたのではなく通知表の成績がほぼオール5でなければだめだったらしく、音楽で2や3を取っている私には端から無理だったようです。結局、心の傷を引きずりながら地元高校に進学。この傷心がその後の高校生活に少なからず影響を及ぼしました。その内容は次回高校編へ。お楽しみに。

新しいポスターが出来ました!

衆議院議員



掲示にご協力いただける方はお近くの事務所までご連絡お願いいたします。



「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的としております。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させていただいております。

また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせていただきます。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

【年会費】 年額 1口 5,000円より

【お振込先】

郵便局：口座番号 00550-4-74787
口座名 「黒岩宇洋と歩む会」

銀行：北越銀行 新発田支店
口座番号 (普)2104899
口座名 「黒岩たかひろと歩む会」

銀行：第四銀行 南新潟支店
口座番号 (普)1769845
口座名 「黒岩たかひろと歩む会」



会費納入にあたっての 注意事項

1. 外国人からの政治活動に関する寄付を受け取る事はできません。
2. 本人以外の名義または匿名により政治活動に関する寄付をすることはできません。